

なかつか 亮



29号線「戸越公園駅周辺」区間の説明会 商店街が壊れる！そもそも必要？



戸越公園駅付近の29号線現地調査。右から白石たみお都議、なかつか亮区議。



大原小学校体育館での説明会の様子 180名参加。



上左の写真の場所は、この辺りです。

29号線道路建設について、測量説明会が未開催となっていた「戸越公園駅周辺」区間について、東京都は大原小学校体育館で、ついに測量説明会を30日(金)に開催。参加者より「とても納得できない」と意見が次々とあがりました。

商店街を壊すな

550戸の住宅を立ち退かせて道路を建設する延長3・5キロ幅20mの都市計画道路29号線。都は国土交通省の事業認可に必要な、測量説明会の開催を6区間に分割し開催。これまで開催が延期されていた戸越公園駅周辺(左)について、ついに測量説明会を開催。

翌日より測量を始めました。残りは「西大井4丁目」区間のみです。今回の区間は、まさに「ここは高齢者が多く、人情のある街。商店街を壊す計画は、やめてほしい」「防災というが、たった1回の説明会で明日から測量開始とはおかしい」などの意見があがりました。

人情ある庶民の街を道路で壊さないで

説明会では「高齢者が20m道路の横断歩道を行ったり来たりして、買い物ができませんか。人情ある商店街が壊れてしまう。今の幹線道路は、どこも13階マンション。こんな姿に、この街を絶対にさせたくない。街にあった防災対策を、もっと真剣に考えて欲しい」。

また商店主からは「移転を補償すれば良い問題ではない。この街だから、商売も成り立つのです」「都や国に、こんな計画に予算を充てる余裕があるのか。そもそも必要か。予算はいくらか」との意見もあがりました。



上：説明会后、「こんな説明会で、明日から測量を強行するのか」と都、区に説明を求める参加者の姿。下：自分の家がどこか探す、住民の姿。



明日から測量 東京都

「明日から測量 東京都」は「沿道は不燃化建物とし、商店と協議しながら建物共同化も検討する。予算はこれから算定。測量は明日から始めさせて頂きます」と説明しました。

これだけの住民の声を無視し、計画強行とは、民主主義に反する深刻な事態です。



現況測量の様子 ※ (西大井5丁目で撮影)

「もう決まったこと」ではありません

事業認可はこれから

説明会資料にも記載がありますが、この道路建設を進めるには国土交通省の事業認可が必要。現在、行われている説明会とは、事業認可に必要な『提出書類作成』のためのデータ収集です。まさに運動はこれから。力を合わせ、強引な計画を中止させ住民参加のまちづくりを切り替えさせましょう。なかつか亮

事業概要及び現況測量説明会

現況測量 ※

用地測量説明会 (権利者のみ)

用地測量 / 事業認可申請 / 認可の取得

用地説明会 (権利者のみ)

物件調査 / 協議 / 補償金支払 / 移転

工事説明会 (地域住民も参加可能)

建物解体 / 道路工事の実施

道路の完成

現在はこここの段階

説明会に参加して

住民が大切にしている商店街、コミュニティーを壊すとは許せません。改めて、強く思いました。また、伊藤小学校で行われた説明内容との違いもわかりました。それは、今後の近隣住民を対象とした説明会は、最後の工事説明会だけだということ。住民主催の「説明会(勉強会)」に区、都の担当者と呼ばば、参加する意思はあるようですが、どこまでも乱暴な計画です。なかつか亮

次回の「気軽な町の無料法律相談会」は日程が決まりしだいご案内します。